

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

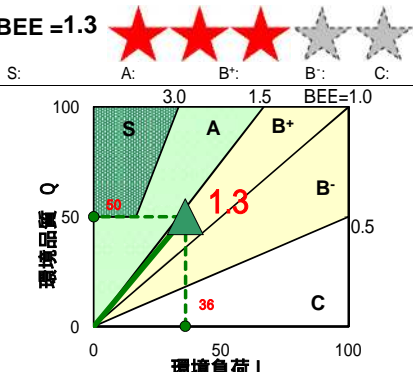
使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)越谷市高齢者複合施設	階数	地上4F
建設地	埼玉県越谷市	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年9月1日
敷地面積	1,356㎡	作成者	滝沢仁
建築面積	658㎡	確認日	2019年9月1日
延床面積	2,545㎡	確認者	滝沢仁



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

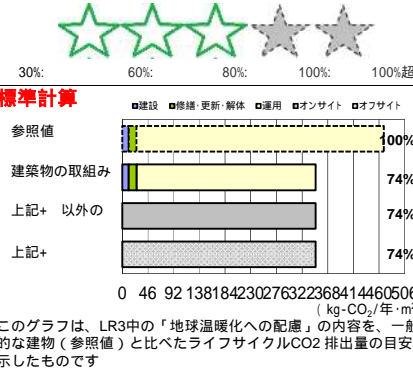
BEE = 1.3



環境品質 Q

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

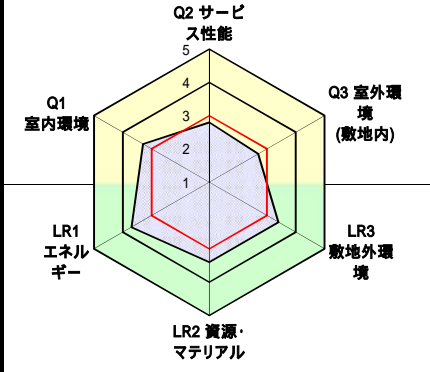


標準計算

建設 0 46 92 138 184 232 302 763 2236 8414 460506 (kg-CO₂/年・㎡)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レダ-チャート)



Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

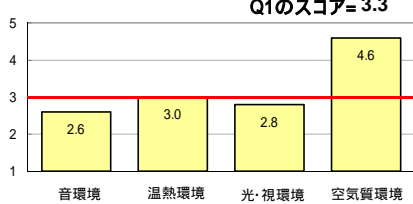
LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

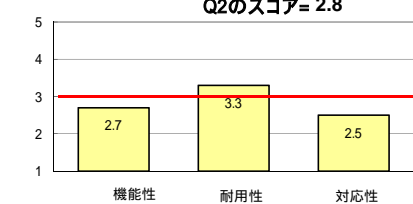
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

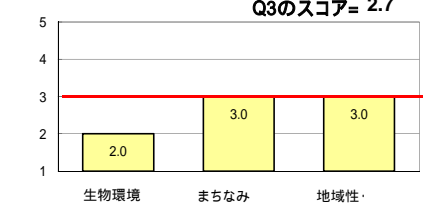
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3



Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

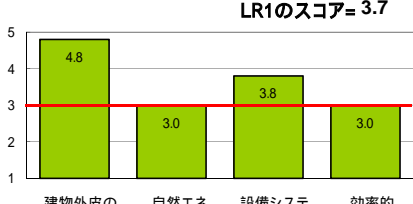


Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

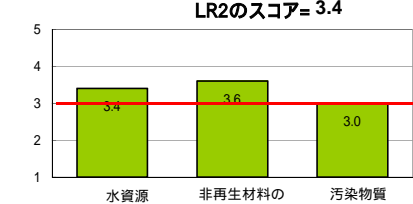


LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

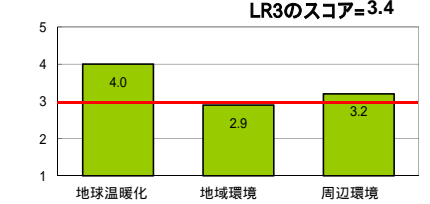
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4



LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4



3 設計上の配慮事項		
総合	潜熱回収型給湯器、LED照明を採用することにより、設備システムの高効率化に努めた。	その他 特になし
Q1 室内環境	内装材料のほぼ全面にF☆☆☆☆を採用し、さらにVOCの含有量の少ない建築材料を使用するよう努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を設けることにより、良好な景観を形成した。
Q2 サービス性能	耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。	LR3 敷地外環境 車両出入口と利用者出入口を分けることにより、渋滞の緩和に努めた。
LR1 エネルギー	断熱材を強化し、建物の熱負荷抑制に考慮した。	
LR2 資源・マテリアル	自動水栓、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)越谷市高齢者複合施設

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境					0.40		-		3.3
1 音環境				2.6	0.15	2.6	1.00		2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.42	3.0	0.42		
1.2 遮音				3.0	0.42	3.0	0.42		
1 開口部遮音性能				3.0	0.51	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.49	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.16	1.0	0.16		
2 温熱環境				3.0	0.35	3.0	1.00		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.42	3.0	0.58		
2 外皮性能				3.0	0.27	3.0	0.42		
3 ソーン別制御性				3.0	0.31		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				2.7	0.25	3.2	1.00		2.8
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.1	0.30		
1 昼光率		病室部分1.25%以上、住居部分2.0%以上		3.0	0.60	5.0	0.58		
2 方位別開口					-	3.0	0.06		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.36		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	1.0	0.30		
1 昼光制御				2.0	1.00	1.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		居室部分は各室にリモコンを設置		3.0	0.25	5.0	0.25		
4 空気質環境				4.6	0.25	4.5	1.00		4.6
4.1 発生源対策				5.0	0.52	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		VOCの含有量の少ない建築材料を使用		5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気				4.0	0.32	3.6	0.38		
1 換気量		換気量は共用部分、宿泊部分1.4倍以上		5.0	0.50	5.0	0.33		
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.16		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-		-		
2 喫煙の制御		建物内全面禁煙		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.8
1 機能性				2.8	0.40	2.6	1.00		2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	0.81		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	0.19		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	-		-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				4.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		内装に維持管理のしやすい建材を採用		5.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		掃除用流しやコンセントの設置など、清掃環境を整備している		4.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.3	0.30		-		3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				4.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		タイル貼り(40年)		5.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:フローリング(20年)、壁:ビニルクロス(20年)、天井:ビニルクロス(30年)		5.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水(VP):B、排水(VP):B、通気(VP):A、Eは不使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.0	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			2.7	0.30	2.2	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり			1.8	0.24	1.4	0.50	
1 階高のゆとり			1.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.24	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.51	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		非住宅部分: BPI _m = 0.72 住居部分: 断熱等性能等級4相当	4.8	0.20	-	-	4.8
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		非住宅部分: BEI _m = 0.80 住居部分: BEI = 0.58	3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	0.81	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	0.19	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓、節水型便器を設置	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン、再生アスファルト、集材材	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材(LGS + PB)が容易に分別可能	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率74%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		適切な量の駐車場、駐輪場、導入路を2か所確保	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)越谷市高齢者複合施設	BEE	1.3	BEEランク
------	----------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
4.0	+	2.6	=	6.6
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	4.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
< 配慮した内容を記述 > ライフサイクルCO ₂ 排出量74%で、温暖化対策に配慮した。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 > 緑地を設けることにより、良好な景観を形成した。			

: 入力欄